

《教養科目》

科目名	キャリア教育				
担当者氏名	田中 政巳、キャリア委員長、専任教員				
授業方法	講義・演習	単位・必選	1・必修	開講年次・開講期	2年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-1 教養 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

「キャリア教育」で学修した内容を踏まえ、就職や進学に向けてより具体的なキャリア形成を目指す授業とする。ディプロマポリシーに基づいて、社会人・職業人としての資質や能力を磨くための講話や体験的な学修等を通して自身の価値を高めていく。アクティブラーニングの手法を生かすなどして主体的で協働的な学修を進める。

《テキスト》

キャリアノートブック

《参考図書》

大野 誠著「敦照のこころ」現代書林1995 等

《授業の到達目標》

- ・卒業、就職に向けてキャリアデザインを設計できる。
- ・進路決定のための情報を収集し就職活動に生かせる。
- ・進路決定までの課題を抽出し、解決ができる。
- ・専門職業人、社会人としての基礎力を身に付ける。
- ・自身のこれからのキャリアについて考え、よりよく生きようとする態度を身に付ける。

《授業時間外学習》

授業で学んだことを生かし、すべての科目において学ぶ目的を明確にしながらかつ充実した学業生活を送れるように、時間外の学修にも進んで取り組む。

前後期15時間1単位の本科目においては15時間の時間外学修が必要とされており、毎時間1時間程度の時間外学修に取り組む。

《成績評価の方法》

レポート課題等60%、授業に向かう意欲や態度、姿勢40%
合計60点以上を合格とする。

《課題に対するフィードバック等》

レポートや提出課題については適宜評価し、フィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	就活講座：担任等	就職活動の計画を具体的に立てる。[時間外学習]自身の計画について担任や学生支援センターが等からアドバイスをもらう。
2	就活講座：外部講師（パレスホテル）	食に関わる職業人・社会人として大切なことについて学ぶ。[時間外学習]学修内容を振り返り、まとめる。
3	チームワーク力の向上：担任等	体育大会を通して仲間と同じ目標に向かい協働することの大切さを学び社会人としての基礎力を身に付ける。[時間外学習]種目やルールの確認や準備・練習をしておく。
4	就活講座：ハローワーク	ビジネスマナーの基礎（手紙文やメール文、電話応対等）について学ぶ。 [時間外学習]学修内容を振り返り、まとめる。
5	就活講座：ハローワーク	会社等の見学や説明会への参加時の望ましい態度や服装、髪型、化粧等について学ぶ。 [時間外学習]学修内容を振り返り、まとめる。
6	消費者教育：外部講師	食の安全や安心等について理解を深め、消費者としての正しい知識や判断力を身に付ける。（聴講後グループ協議）[時間外学習]学修内容を振り返り、まとめる。
7	就活講座：担任等	就職試験時に実技試験を伴う場合の対策について学ぶ。[時間外学習]実技試験の内容についてしらべておく。
8	緊急時におけるAEDの使用：外部講師	緊急時のAEDの使用法を体験的に学び、職場での危機意識を高めるとともに事故発生時の対応力を身に付ける。[時間外学習]AEDの使用について予習をしておく。
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

《教養科目》

科目名	キャリア教育				
担当者氏名	田中 政巳、キャリア委員長、専任教員				
授業方法	講義・演習	単位・必選	1・必修	開講年次・開講期	2年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-1 教養 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

「キャリア教育」で学修した内容を踏まえ、就職や進学に向けてより具体的なキャリア形成を目指す授業とする。ディプロマポリシーに基づいて、社会人・職業人としての資質や能力を磨くための講話や体験的な学修等を通して自身の価値を高めていく。アクティブラーニングの手法を生かすなどして主体的で協働的な学修を進める。

《テキスト》

キャリアノートブック

《参考図書》

大野 誠著「敦照のこころ」現代書林1995 等

《授業の到達目標》

- ・卒業、就職に向けてキャリアデザインを設計できる。
- ・進路決定のための情報を収集し就職活動に生かせる。
- ・進路決定までの課題を抽出し、解決ができる。
- ・専門職業人、社会人としての基礎力を身に付ける。
- ・自身のこれからのキャリアについて考え、よりよく生きようとする態度を身に付ける。

《授業時間外学習》

授業で学んだことを生かし、すべての科目において学ぶ目的を明確にしながら充実した学業生活を送れるように、時間外の学修にも進んで取り組む。

前後期15時間1単位の本科目においては15時間の時間外学修が必要とされており、毎時間1時間程度の時間外学修に取り組む。

《成績評価の方法》

レポート課題等60%、授業に向かう意欲や態度、姿勢40%
合計60点以上を合格とする。

《課題に対するフィードバック等》

レポートや提出課題については適宜評価し、フィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	働くことの意義：キャリア委員長、担任等	専門職業人として社会に貢献することの意義について理解し、社会人としての心構えを持つ。[時間外学習]目指す職業人として働くことの意義について考えておく。
2	障がい者雇用：外部指導者	多様性についての理解を深め、誰もが活躍し誰とでも協働できる職場環境について考える。[時間外学習]障がい者雇用について調べておく。
3	先輩から学ぶ：卒業生及びキャリア委員長・担任	専門職業人としての業務内容や社会人として大切なことなどを卒業生から聴き理解する。(聴講及び話し合い)[時間外学習]学修内容をまとめる。
4	国際学院の学生としての責任と誇り：学長	学院創立記念に係る講話を通して、社会人としての教養を高め自己を見つめる。[時間外学習]学修内容を振り返りまとめる。
5	就職活動報告会準備：担任等	グループ別にこれまでの就職活動について報告し合い、課題等を明らかにしながら、先輩に伝える準備をする。[時間外学習]次回の説明資料を作成する。
6	就職活動報告会：担任等(1.2年合同)	グループ別に就職活動や就職試験の様子について後輩(1年生)伝え、心得るべきポイントについて話し合う。[時間外学習]後輩への説明内容を考えておく。
7	社会人としての使命感：学長	社会人としての使命感について学び自己を確立できる。[時間外学習]2年間を学びを通して身に付けた力や今後努力すべき点についてまとめておく。
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		